

金沢医療センターで下肢静脈外来を受診された患者様へ

当院循環器内科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。

この研究は福岡和白病院の臨床研究審査委員会の審査を経て、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	令和6年能登半島地震における静脈血塞栓症(エコミークラス症候群)の発生状況ならびに予防啓発活動検討
当院の責任者(所属)	循環器内科・救急治療部長 小見亙
本研究の目的	2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の発生直後、日本静脈学会では、全国の分散備蓄分の弾性ストッキングを被災地に集約し再分配し、医療救護班によるVTE予防啓発活動を実施するとともに、マスコミからの血栓症の疾患に関する情報と予防に重要性を協働しました。また、一部の地域では同活動のスキームとマニュアルを作成し、系統立った予防啓発活動を医療と保健関係者で実施するとともに、一部で静脈エコー検診を展開しました。本研究では、能登半島地震での血栓症予防啓発活動と早期発見、早期治療の効果を検証する。このことにより、今後想定される南海トラフ地震をはじめとする、大災害発災後の血栓症による災害関連死を減少させる活動の根拠となる知見が得られることが期待されます。
調査データ該当期間	2021年4月1日～2029年3月31日
研究方法	●調査の対象となる患者様 上記期間に当院心臓血管外科及び循環器内科を受診され、深部静脈血栓症の診断となった患者様。 <カルテに記載のある診療情報> 研究対象者について、下記の臨床情報を診療録より取得する。 1. 臨床所見(年齢、性別、病歴や生活状況に関する情報等) 2. 深部静脈血栓症の診断根拠 3. 深部静脈血栓症の治療方法とその経過
個人情報の取り扱い	収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。 国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表(学会や論文等)に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究の資金源(利益相反)	本研究は資金を必要としない。なお、本研究を実施するにあたり、研究の結果及びその解釈に影響を及ぼすような利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	独立行政法人国立病院機構金沢医療センター 循環器内科 電話:076-262-4161(代表) 責任者:小見亙